

精神看護方法論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

精神看護を行うための考え方や実践方法を学び、精神保健領域において看護援助を行う上での基礎的な知識と技法を習得する。そのため精神医療の現状や課題について説明でき、精神疾患患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係を理解し、精神医学の診断・治療はどのような理論や基準とともに行われているのか、さらに生活支援のための保健医療福祉サービスの実際および精神保健看護における課題について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

精神保健領域の多様な場において、地域包括ケアを実践する上での基礎的な知識と技術を習得し、精神保健上の問題を抱えている人々のケアを適切に行うため、場の特性を理解したうえで、対象者の多様な生活者としての側面、身体的・精神的な側面、環境との関係の側面、成長・発達の側面を収集し、看護の視点から対象者の経験や望みを共有しながらアセスメントする方法や、個別性のある看護計画の立案と、対象との相互作用に裏付けられた看護実践の方法及び評価の方法を理解し、説明することができる。

同時に、精神医療・福祉における法律および制度、地域社会の変化や精神保健・医療・福祉の動向、人の行動変容に必要な基礎理論と共に、精神障害の診断と治療、精神薬理の実際、療養環境と治療の遂行に伴う安全性の確保など、精神科領域の治療環境を踏まえた治療の全体像を理解し、説明することができる。

また、精神保健上の問題（主に統合失調症・気分障害・依存症・自殺など）を抱えながらも自分の人生の主導権を持ち、自分自身の独自性を価値あるものと認め、社会に参加し、そして希望を創造し実現していくその過程（リカバリー）について理解し、説明できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. わが国の精神科医療・福祉における法律および制度とその活用について説明できる。
2. 地域の生活支援サービス、様々なグループ活動について、精神保健上の問題を抱えている人々の暮らしと回復過程に付随する療養上の困難な課題と関連付けて説明できる。
3. 精神障害の診断と分類について説明することができる。
4. 統合失調症・気分障害・依存症などの疾患の特徴と回復プロセス、必要とされる治療やケアについて説明できる。
5. 精神保健上の問題を抱えている人々の「生きにくさ」について地域社会とのかかわりに関連付けて説明できる。
6. 精神保健上の問題を抱えている患者に提供する多様なケア方法の展開（情報の収集・アセスメント・計画立案・実施・評価及びコミュニケーション）について、その特性を含めて説明できる。
7. 精神疾患からのリカバリーについて、当事者からの視点をもとに理解し、説明できる。
8. 精神科以外での精神看護の役割について理解し、説明できる。

・授業日程

（矢）西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/14	水	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	精神障害の診断と分類 <ul style="list-style-type: none"> ・ DSM と ICD の分類について説明できる ・ 統合失調症と気分障害の概念の変遷と診断基準について説明できる
9/21	水	4	地域包括ケア講座	高崎 邦子 講師	治療環境と看護① <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科病棟や精神科入院の特徴を説明できる ・ 入院の意味を理解する治療環境をいかに作るのかを説明できる ・ 入院から退院までのケア展開を説明できる
9/29	木	2	地域包括ケア講座	高崎 邦子 講師	治療環境と看護② <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の安全を守る環境とケアについて説明できる ・ 隔離拘束の意味と最小化に向けた取り組みについて説明できる ・ 精神科における緊急事態に対処するための方法について説明できる

10/6	木	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	<p>地域における精神看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の地域生活を支えるための法律及び制度について説明できる ・活用できる社会資源を挙げることができる
10/11	火	5	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授	<p>地域における精神看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活するための原則について説明できる ・災害時における精神看護について説明できる
10/20	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の発病プロセスと症状について説明できる ・統合失調症の回復プロセスについて説明できる
10/27	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の治療について説明できる ・抗精神病薬の効果と副作用を挙げることができる ・服薬継続に向けた看護について説明できる ・回復プロセスに応じた看護について説明することができる
11/8	火	4	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分障害の発病プロセスと症状について説明できる ・気分障害の回復のプロセスについて説明できる

11/10	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護④ ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分障害の治療について説明できる ・抗うつ薬の効果と副作用を挙げる事ができる ・回復プロセスに応じた看護について説明することができる ・自殺についての傾向と自殺予防の取り組みが説明できる
11/15	火	4	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護⑤ ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嗜癖行動と依存症の発病プロセス及び回復プロセスについて説明できる ・回復に応じた治療と看護について説明できる
11/22	火	3	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>精神科医療における治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法について説明できる ・精神療法について説明できる ・環境療法、社会療法について説明できる
11/24	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	<p>回復を支援する ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リカバリー及びエンパワメント、ストレンクス概念について説明できる ・セルフヘルプグループによる回復について説明できる
11/29	火	4	地域包括ケア講座	高崎 邦子 講師	<p>精神科における身体ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科における身体観察の重要性と問題点（困難さ）について説明できる ・精神科におけるフィジカルアセスメントの実際が理解できる ・摂食障害の看護について説明できる

12/1	木	2	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授 外部講師	精神科以外での精神看護① ・リエゾン精神看護についてその概念と役割について説明できる
12/6	火	3	地域包括ケア講座	熊地 美枝 准教授	精神科以外での精神看護② ・精神看護専門看護師の役割と活用について説明できる ・がん及び慢性疾患、その他の身体疾患患者への精神看護について説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子・末安民生 ほか	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子・末安民生 ほか	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験（多肢選択）70%と Portfolio 評価 30%の合計 100%にて評価をする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修は、所定の事前学修シートに提示された keyword を調べてまとめる。各回最低 30 分を要する。

事後学修は、所定の事後学修シートに、各授業回の学修の要点をまとめる。各回最低 30 分を要する。事前・事後学修シートは、Portfolio にまとめる。

また、授業中に映写するパワーポイントは WebClass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内で解答・解説を行う。

リアクションペーパーは、次の授業等で適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

【その他】

適宜、講義の中で、ディスカッションなど学生同士ともに学び合うことができる機会をもつ。

適宜、講義中にスマートフォン等から IR の利用によるアンケートフォーム（Custom form®）を通して、学生の意見の共有や理解度の確認を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影